

年を越す座り込み交渉

水俣病新認定患者

水俣病新認定患者・家族との直接補償交渉は、問題解決の糸口さえつかないまま、ついに越年することになった。

本社前でモチつき

川本さんら冷たい社側に持久戦



モチをつく川本さん夫妻(東京・チッソ本社前)



チッソ水俣工場正門前のテントですわり込みを続ける人たち

【東京】
農薬側は押し詰め
日 東京で、チッソの拠点の場所
つた三千日も、チッソ本社のある東京で、
ソ本社のある東京で、
ル前のテント小屋をすり込みを
つけ、午後一時半、「一日三

月 東京で、チッソの拠点の場所
て、難波開発者たち金いのものと
交換したい」という申し入れのた
め、同ビル四階の本社に向かっ
て、打ち切り。農薬側は「水俣で

開墾地に防護柵などを封鎖、唐
はノン・ストップでセツトされ
ていたため階段を登った。
チッソはこの日が「御用納め」
となっていたが、五井工場の從業
員を含めて約一百人を動員、前日

水俣

地図では新認定廠
場正門前にすわり込
み入り、難波の患者・家族は東京
の動きに注目してきた。
島田社長が正月三百に水俣を訪
れて、患者と話し合いをするとい
うのだから余ってもらえないか。
申し入れは本社に伝える」と答えた。
難波では東京交渉に重点を
置いているため、患者全員が年明
けとともに上京する態勢をみて
いる。

“社長きてても会わぬ”

東京での動き見守る

で、双方の主張はいぜん平行線をたどっている。
申し入れに応じて、農薬側は文
擇の本体割を専属する会員たなど
同日前十時すぎからビルの前に
モチつき、約二時間で二十歩のモ
チ米をつきあけたが、農薬側は
「これで正月始儀はできた」とつ
きたとのモチをほねばりながら笑
ひをさせていた。
越年する患者・家族は川本輝夫
さん(左)の一家四人、佐藤成喜さん
さん(右)の一家三人、坂本マ
ムラさん(右)の七人で、坂本マ
ムラさん(右)は家庭の事情で三十
歳途についた。水俣病を専門的
に扱う水俣病専門医の石井
和道子さん(左)も「農薬さんたちの
恩恵にそつてチッソの責任を追及
していく」と農薬支援の越年態勢
をこれからも要求しつづける構え
をとっている。(東京支社)

8

さくのの一家四人、佐藤成喜さん
さん(右)の七人で、坂本マ
ムラさん(右)は家庭の事情で三十
歳途についた。水俣病を専門的
に扱う水俣病専門医の石井
和道子さん(左)も「農薬さんたちの
恩恵にそつてチッソの責任を追及
していく」と農薬支援の越年態勢
をとっている。(東京支社)

はない。本社での話し合いは混亂
するに堪へ、農薬を上げているが、チッ
ソが直接交渉に応じれば混乱する
ことはない」との申し入れ声を渡
した。これに対し難波総務課長は
「せつなく社長が水俣に来るとい
うのだから余ってもらえないか。
申し入れは本社に伝える」と答えた。
難波では東京交渉に重点を
置いているため、患者全員が年明
けとともに上京する態勢をみて
いる。

苦境に立つ直接派

患者内部
に対立も

「あいたいで話をつける」といふに踏み切った背後には、これが直接交渉は、実のままで超年することになった。一般的には補償交渉のあり方としては、加害者と被害者の直接交渉が最も基本的なのが、三十四年十二月の兎舞い金契約以来、第三者が機関に補償をゆだねているチッソは「認定内容が公表されない以上、補償の手がかりがない」といふに對する強い不満があつたことに對する強い不満がある。「水銀をたれ流しにしたと申すが、川本さんらの帰加入念の噴出」だっただけに、支援団体の水俣病告発する会は、川本さんらの帰加入念の噴出」だっただけに、支援団体の水俣病告発する会は、

「川本さんらが本社すわり込み百万円支払え。といふ、この中最も「脅迫は余がない」と申すが、川本さんは本社すわり込みか非常識な額を要求して自主交渉を認めていた。」

この直接交渉という新しい補償交渉は、株主総会における「対決」から一步前進した「おん念の噴出」だつただけに、支援団体の水俣病告発する会は、

川本さんらの帰加入念の噴出」だっただけに、支援団体の水俣病告発する会は、川本さんらの帰加入念の噴出」だっただけに、支援団体の水俣病告発する会は、

川本さんらの帰加入念の噴出」だっただけに、支援団体の水俣病告発する会は、川本さんらの帰加入念の噴出」だっただけに、支援団体の水俣病告発する会は、